

# 第79回“はばたけTogether” Concert



## WESTER-TRIO

ヴェーザートリオ

ベートーヴェン  
弦楽三重奏曲第一番  
変ホ長調 Op.3 より抜粋

日本メドレー etc.

予約制

2024年 7月27日(土)

会場：はあぶ工房 Together  
桑名市陽だまりの丘7-1706

第一部 10:00 開場 10:30 開演 第二部 14:00 開場 14:30 開演

協力会員券 3,000円 (ケーキセット付き)

チケットご予約・お問い合わせ

主催: NPO法人はあぶ工房Together

TEL: 0594-32-5216(火~土) <https://www.herb-kobo.com>

\*収益金は障がいのある方々の自立支援に活用します。





ヴェーザー川流れるミンデンで出会った3人が織りなす色彩豊かなハーモニー。

# WVT

Weser Trio  
FLUTE VIOLA CELLO

## フルート：服部優子



幼少よりピアノを松原広地、16歳よりフルートを浅見克江、故増永弘昭の各氏に師事。94年に渡独後、ドイツ国立デトモルト音楽大学にて、フルートをミヒャエル・アヒレス、ピッコロフルートをラファエル・ヴァイトリヒ、ハイケ・マルツ、室内楽をハンス・J・ヴェーグナー、ハンス・D・クラウス、マルコ・リッチ、今井信子、マルシオ・カルネイロの各氏に師事。芸術家育成、室内楽課程、共に首席で卒業。これまでに、ハンス・P・シュミッツ、アンドレア・リーバークネヒト、フェリックス・レングリ、エマニュエル・パウのマスタークラスを受講し研鑽を積む。デトモルト室内楽オーケストラ、デトモルト・バロックアカデミーの首席フルートとして、また、オーケストラとの共演や室内楽、ソロ活動などヨーロッパを中心に多数の演奏会に出演。現在はクラシックフィルハーモニー・ハンブルク、ノイエフィルハーモニー・ハンブルク、OWL室内楽フィルハーモニーで首席フルートやピッコロフルートを務める他に、デュオ・レアデュソン、ヴェーザートリオなどの室内楽、ワールドミュージック系バンド「アンサンブル・ヴィノロッソ」など幅広く活動中。ハンブルク在住。

## ヴィオラ： セバスチャン・グリュンベルク



セバスチャン・グリュンベルクは、ヴェーザー川の流れるミンデン出身のヴィオラ奏者。幼少は、ヴァイオリンをA.W.トルヴァイエに師事、様々な室内楽やオーケストラにて活動。元ベルリンフィルハーモニー管弦楽団のT.シュナイダーの元でヴィオラに転向した後、ハノーヴァー音楽大学にてルーベナッカーに師事、99年に卒業。引き続きヘルシンキのシベリウスアカデミー大学院にてヴィオラと並行し合唱指揮を学ぶ。(01年修士号取得)ヴィオラをJ.マンスネルスに師事。Sir C.デイヴィス、E-P.サロネン、L.セーゲルスタムなどの著名指揮者の元でシベリウスアカデミーオーケストラにて演奏の経験を積む。01年からドイツに戻り、ハノーヴァー音楽大学で、09年からブランシュヴァイク大学にて合唱団とオーケストラの指揮者に就任し、ヨーロッパで合唱団やオーケストラを指揮。ヴィオラ奏者として様々なオーケストラ(プレーメン室内楽フィルハーモニー、ハノーヴァーヘリオス室内楽オーケストラ、デトモルト“ラ・レジュッサンス”など)と演奏しており、古楽器の長年の関わりによりバロックオーケストラ(ハノーヴァー宮廷管弦楽団、バロックオーケストラ・ラルコ、ハンブルクバロックオーケストラ)とも演奏している。現在はそれらに加え、OWL室内楽フィルハーモニーの首席ヴィオラ、ヴェーザートリオのメンバーとしても活躍中。ミンデン在住。

## チェロ：ヨナス・ガウベ



ヨナス・ガウベは、アーヘン出身のチェリスト、5歳よりT.ラーデマツハからチェロを学ぶ。9歳にてS.ポーン＝シュルツ率いるケルンのライン音楽学校へ移行、室内楽やオーケストラのメンバーとして活動。ドイツ青少年音楽コンクール、ライオンズクラブ主催青少年音楽コンクールにて優勝、フォルクヴァンク室内管弦楽団、ドイツ室内楽フィルハーモニー・ノイス、シンフォニエッタケルン、WDR放送オーケストラなどの著名なオーケストラにソリストとして出演、13歳で共演デビューを果たす。06年からエッセンのフォルクヴァンク芸術大学でJungstudent(高校生で音楽大学に入れるシステム)としてC.リヒターに師事。引き続き、ベルリン音楽大学にてS.フォルク、デトモルト音楽大学でX.ヤンコヴィッチに師事。同時期以降、デトモルト室内楽オーケストラ、OWL室内楽フィルハーモニーにて首席チェリスト、ヴェーザートリオなどの様々なアンサンブルで室内楽奏者、そしてソリストとして精力的に活動している。アーヘン在住。